

NEWS RELEASE

2010年1月26日
在日フランス大使館 対仏投資庁日本事務所
<http://www.investinfrance.org/jp/>

**株式会社 堀場製作所 代表取締役社長 堀場 厚氏
フランス共和国 レジオン・ドヌール勲章シュヴァリエを受章
仏国 2 事業の功績を称える**

株式会社 堀場製作所 代表取締役社長 堀場 厚氏が、レジオン・ドヌール勲章シュヴァリエに叙されます。叙勲式は、本日 26 日 17 時より、ハイアットリージェンシー京都にて執り行われ、駐日フランス大使 フィリップ・フォールより授与される予定です。今回の授与は、堀場氏のフランス発のブランドをグローバルに拡大された実績、また日仏両国の技術・人材を融合させる経営、生産拠点拡張による安定した雇用創出など、日仏関係強化への尽力に感謝と敬意を表するものです。

レジオン・ドヌール勲章受章理由

株式会社 堀場製作所は、1977 年自動車排ガス測定装置の受注を皮切りに、30 年以上にわたってフランスで事業を展開されています。フランス子会社の売上高を 98 年比で約 2 倍に拡張、ブラジルでの試薬工場稼働や分光器を米国航空宇宙局 (NASA) へ納入するなど、グローバルな事業展開を行なわれています。フランス国内においては、南仏モンペリエ市(ラングドック・ルシヨン地方)に血液検査装置用の検査試薬工場を増設するなど、同年比で4割増の雇用を確保できる程の強固な事業基盤を築かれてこられました。このたび、フランスを中心としたグローバル経営の推進と分析計測を通じた30年来の日仏友好への寄与が高く評価され、国家最高勲章の受章が決定されました。

フランス発の事業展開

当初は、ブジョー、シトロエン、ルノーに自動車排ガス測定装置を納入するなど、自動車産業を通してフランスとの交流を深めてこられました。その後、分析・計測技術の新領域への拡張と高付加価値の実現に向け、血液分析装置のベンチャー企業ABX社(現 ホリバABX社)や光学分析機器の世界トップ企業インスツルマンツ社(現 ホリバ・ジョバンイボン社)を買収されました。いまや同グループのネットワークは、世界22カ国で展開されています。名実ともに世界をリードする企業として、欧州ではもちろんのこと、北南米やアジアに拠点を配置し、フランス発のグローバル経営を育成・展開されてこられました。

対仏投資庁では同社に“2005年 技術分野投資大賞”を授与、同社のフランスにおける積極的な事業展開を褒め称えました。

近年、同社はモンペリエ市に生産能力を2倍に強化した試薬工場を竣工、増産体制を立ち上げています。また、パリ近郊にあるフランス最高水準の理工系教育研究機関の敷地内に研究開発拠点の新設を決定し、産官学の連携強化によって、光学分析装置をはじめ、高精度で精密な計測技術を開発し、科学技術の発展に寄与されています。

これら【医用】と【科学】分野で同グループにおける主軸の2社の社長は、昨年、堀場製作所本体の執行役員に外国人として初の就任。各事業セグメントの最高責任者として指揮を執り、“真の高品質企業”を目指すグローバル企業体への経営体制を育まれています。この他、フランスの血球計数技術が日本の技術者へも移管され、両国の共同事業として世界初の小型血液分析装置が開発されました。技術面においても日仏融合のモノづくりを推進されています。同社は今後も、フランスを新たな技術開発やパートナーシップを生み出す中心拠点として位置づけ、『分析計測』分野を通して、日仏両国の学術面、産業面での発展に貢献し続ける意向を表明されています。

叙勲にあたり、堀場厚氏は叙勲の喜びを次のように述べられました。

「京都市とパリ市は姉妹都市の歴史が半世紀を越え、文化・芸術両面でフランスと京都が共通して持つスピリットの展開に有効であり、京都人 そして個人的にも以前より提案していたことが叶えられ、先月には京都で初めての総領事館となるフランス総領事館が構えられました。

友好親善に有意義なこの時期に、ここ京都で世界的に権威のあるレジオン・ドヌール勲章を受章できることは、ビジネスを通じて海外、とりわけフランスとつながりを持ってきた者のひとりとして、大変光栄であり感激しています。この受章をさらなる両国友好のスタートと受けとめ、当社も約 30 年間で築いてきた信頼関係を堅持しながら、両国発展の一端を担う企業として活躍できるよう、今後も努力を続けていきます。」

また、駐日フランス大使、フィリップ・フォールは、次のようにコメントし、堀場厚氏の功績を称えました。

「日仏間の相互の信頼関係を構築し、2社をグループ化するなどの継続的な投資実績、南仏での試薬生産拠点の拡張やフランス各地での長期的な雇用創出など、日仏間の架け橋となりフランス産業に貢献されました。今後新設される研究開発拠点に関しては、産学官の技術交流が深まり、フランスの産業から世界の新規市場を開拓する原動力となることを期待しています。

昨年、総領事館を文化・経済・環境に恵まれた京都に移転しました。堀場氏の協力も得て、日本との経済的交流だけでなく、フランスの文化や芸術などの魅力をより一層伝え、日仏両国関係の発展に努めていきます。」

レジオン・ドヌール勲章：

1802年にナポレオン・ボナパルトによって創設されたフランス共和国最高の勲章で、軍事、文化、科学、産業、商業などで、同国に多大な貢献をした人物や団体に授与される。この勲章には、シュヴァリエ、オフィシエ、コマンドゥールの3つの等級があり、さらにその上にグランフィシエ、グランクロワが存在する。現在までに約1500人の外国籍の叙勲者があり、その内の1割が日本人である。

対仏投資庁 (略称 AFII)

フランスへの国際投資誘致、進出企業向け支援を担当する国の機関。フランス国内および北米、欧州、アジア各国におかれた在外事務所を結ぶネットワークで機能している。フランス国内各地方の経済開発機関との緊密な連携により、最良のビジネス機会とそれぞれのニーズに応じたサービスの提供を行う。 <http://www.investinfrance.org/jp/>

本件に関するお問い合わせ先：

在日フランス大使館 対仏投資庁 広報担当 ジェレミ・エルヴェ (Jérémy HERVÉ) TEL : 03-5798-6144 (直通)